

登録日時	2009 8/17 9:05	登録番号	026
行動 チーム名	「チーム水・日本」広報支援チーム		
行動主体	<input type="radio"/> (社) 民間活力開発機構 <input type="radio"/> (株) 電通 <input type="radio"/> (株) 電通パブリック・リレーションズ		
行動内容	<p>・国際社会とわが国の将来にとって重要な諸課題(生命、環境、食料ほか)の根底に位置する水問題に関し、広報面からの取組みを進める。具体的には、以下の4つの活動を通じて水に対する国民全般や企業の関心・意識を高めると共に、「水の国・ニッポン」としての国家的ブランドイメージを広く海外に発信することを、「チーム水・日本」を軸に様々な機会を捉えて推進する。</p> <p>1) 「チーム水・日本」としての国内外への情報発信サポート  2) 企業、メディア、NPO等との連携による「チーム水・日本」広報活動の推進・支援  3) 「チーム水・日本」各行動チームの広報面でのサポート  4) 各企業、自治体等の水関連事業の広報活動支援</p>		
課題分析	<p>・水問題は、2050年の世界における最重要テーマの1つとする指摘が数多くの識者からなされているものの、報道上のテーマとしてはホットイシュー化していない。わが国の現在の水環境が一定の安定状況にあることから、国民における水意識は必ずしも高いとは言えず、水問題に関する各界オピニオンリーダーからのコメントも決して多いとは言いがたい。こうした状況において、社会、行政、企業、生活者各層の「水を大切にする」「水と親しむ」「水をマネジメントする」「水を海外進出の武器とする」マインドと具体的取組み(事業・商品開発など)を促すには、「産官学」の広範な連携を通じて以下の5つの課題を改善・解決することが当面のポイントと捉える。</p> <p><b>1. 「チーム水・日本」を軸とする広報活動の連携・一体化</b>  <b>2. マスコミ、オピニオンリーダーの巻き込み、世論喚起</b>  ・ニュース発信や恒常的なリレーションづくりによる世論喚起  <b>3. 企業コミットメントの場作り</b>  ・原料調達・商品生産から広報・マーケティング、CSR・社会貢献活動に至るまで広範に関わっている現状に鑑み、更に具体的なアクティビティを促がす場や仕掛け作り  <b>4. 国際的な情報発信</b>  ・「水の国・ニッポン」としてのブランド発信による海外ビジネス展開のイメージ基盤作りや海外向け水事業の広報支援  <b>5. 水問題に関わる他の社会テーマとの効果的連携</b>  ・国民、生活者の関心が高まってきた環境問題や食料問題等、水と関連性の高い様々な社会テーマとの連携を推進</p>		
留意事項	* 「チーム水・日本」オリジナルロゴマーク/スローガンを無償開発・提供		